

商店街にカブトムシを放して自由に捕ってもらうイベントに関連し、捕まえたカブトムシを持ち寄って楽しむ相撲大会が18日、高崎市鞆町のさやもーるで行われた。

高崎中部名店街(友光勇一理事長)が10日から行ってきたピートルスウィークの最終日の催し。期間中カブトムシ約900匹がさやもーるに放され、買い物客らが捕って楽しんだ。

会場には小さな土俵が用意され、カブトムシを向かい合わせて対

2010年(平成22年)7月19日(月曜日) (日刊)

「ピートルスウィーク」で催し

県央

19面



7月19日
月曜日

はっけよいカブトムシ

高崎 中心商店街で相撲大会

戦。押し合っの力比べや、土俵際に粘る様子に子供たちは言葉を送り、笑顔を見せていた。

このほかしーや綱渡り、綱引きも行われ、全種目の参加スタンプ

を集めた人には、来年カブトムシの幼虫がもらえる「引換券」がプレゼントされた。

最終日も約200匹が放され、綱や虫かごを持参した親子連れでにぎわったカブトム

シの準備に奔走した理事の後藤政尚さん(48)は「横浜から来てくれた人もいる。ノウハウを伝えて、来年はよりスムーズに開催したいと話していた。



捕まえたカブトムシを持ち寄って開かれた相撲大会

前橋・あかぎ・高崎・はるな・伊勢崎

群馬

中毛・西毛

【支局】
 前橋〒371-0026
 前橋市大手町3-7-11
 電話 027-232-4311
 Fax 232-2262
 メールはmaebashi@yomiuri.comへ
 高崎〒370-0831
 高崎市あら町1-9F
 電話 027-322-2834
 Fax 324-7553
 太田〒373-0033
 太田市西本町47-16
 電話 0276-31-5400
 Fax 31-5417
 藤岡〒375-0051
 藤岡市本町250-5
 電話 0274-24-7330
 Fax 24-7335

【通信部】
 桐生 44-1414
 伊勢崎 25-3150
 沼田 23-4311
 高崎 24-4311
 前橋 25-2511
 【広告】前橋 255-2511
 太田 46-6165
 前橋 243-5201
 【旅行】前橋 253-2304
 【折込】前橋 251-1666
 【購読】前橋 235-6600
 前橋南 265-6280
 前橋北 251-1077
 高崎南 323-0522
 高崎北 323-0458
 安芸 382-1811
 沼田 23-0330
 藤岡 24-6318
 中之条 22-0624
 高崎 65-0169
 中之条 75-2322
 新前橋 42-0268
 前橋北 283-7575

カブトムシウィーク始まる

高崎の商店街、100匹放つ

高崎市中心部の商店街「さやもーる」で10日、カブトムシを自由に捕まえる「ビートルズウィーク」が始まった。狙い目とされ

た夕方には、網と虫かごを持った多くの子どもたちが駆けつけた。

この日は、予想以上の虫捕り少年が集まったため、当初の倍にあたるカブトムシ約100匹と、クワガタ約50匹が放たれた。植木の近くで見つけたという安中市立原市小2年の有阪泰星くん(7)は「カブトムシを捕まえるのは初めて。角がカッコいい」と満足そうだった。

主催した高崎中部名店街の理事で、カブトムシを育てた後藤政尚さん(48)は「この盛り上がり商店街の活性化につながる方法を練りたい」と話した。

イベント最終日の18日は、午後2時～4時に「かぶと虫相撲大会」を開催する。



商店街でカブトムシを真剣に探す子どもたち(高崎市内で)

カブトムシ 600匹捕まえて

高崎の商店街でイベント

カブトムシを高崎の街で捕まえよう——。高崎市中心部の商店街「さやもーる」で10、18日、カブトムシ約600匹を放って自由に採集してもらう初のイベントが催される。主催する高崎中部名店街の理事で、カブトムシを育てた後藤政尚さん(48)は「放課後の夕方が狙い目。高い所にも止まっているので、網を持ってきて」と子供たちに呼びかけている。

「ビートルズウィーク」と銘打ったイベントの期間中、全長150mの商店街に植木を持ち込み、街路灯にはヤシの木の皮を巻き付けてカブトムシが過ごせる環境を整える。商店街で育てた成虫を毎夕、数十匹ずつ放ち、持ち帰ってもらう。月に1度の「たかさぎ屋市」に合わせた最終日の18日は、午後2時～4時に「かぶと虫相撲大会」を開催。期間中に捕まえたカブトム

シで押し相撲、レース、綱渡り、綱引きの4種目を争ってもらおう。全種目に参加すると、オスとメスの幼虫引換券をもらえる。「来年は育てたカブトムシで大会に参加してほしい」と後藤さん。同じ日の午後3時から大人向けに、カブトムシが名の由来となった「ビートルズのコピーバンド」によるライブを上演する。

育てたカブトムシと後藤さん(3日、高崎市内で)

イベントを企画するきっかけは、制服を扱う洋品店に来た中学生が、幼稚園や小学生の頃にカブトムシを商店街の催しでもらったのを覚えていたことだ。子供の記憶に残るイベントを行えば、商店街の活性化につながるのでは、という思いから実現にこぎ着けた。後藤さんは、33歳の頃から

らカブトムシを育てている。「夕立でおぼれ死にさせない」という2点に注意すれば、梅雨明けの少し前、500～600匹は成虫になる。2001年と06年に成虫を配るイベントを行ったが、今回は初めて「虫捕りの場」を提供する。後藤さんは「イベントをきっかけに育てる楽しさを知ってもらい、商店街に足を運んでくれたらうれしい」と期待している。

飼育場所は古い風呂おけや木箱。エサとなる朽ち木などを敷き詰める。「エサがなくならないようにす

る」

「夕立でおぼれ死にさせない」という2点に注意すれば、梅雨明けの少し前、500～600匹は成虫になる。2001年と06年に成虫を配るイベントを行ったが、今回は初めて「虫捕りの場」を提供する。後藤さんは「イベントをきっかけに育てる楽しさを知ってもらい、商店街に足を運んでくれたらうれしい」と期待している。



中部名店街 ロイター通信に乗って全世界に配信

7月10日から18日までの間、高崎中部名店街（友光勇一理事長）で「ビートルズウィーク」が開催され、同商店街が自前でふ化させた約650匹と賛同した方から寄せられたかぶと虫を合わせ、合計約900匹が1週間の間に商店街に放たれ、最終日には、かぶと虫による相撲大会も行われた。

このイベントに様々なマスコミが注目し、NHKやケーブルTV、新聞各社はもちろんだが、“あの”ロイター通信社まで取材に訪れた。

きっかけは、テレビ朝日が放送した約6分間の告知番組を見たこと。

この話題はインターネット中でも大変話題になった。商店街中に貼られた「かぶと虫出没注意」という道路標識のような貼り紙を見た某有名人が「かぶと虫がたくさんいるなんて、スゴイ街だ！」ということを書いたことが始まりで、多くの高校生や若者がこの標識のような貼り紙の撮影に訪れた。